

木彫に触れて感じて 新居浜で作品展



自由に触って楽しめる彫刻を紹介する増本達彦さん
＝1日午後、新居浜市坂井町2丁目

木の彫刻に手で触れて、自由に鑑賞してもらおう作品展が新居浜市坂井町2丁目のあかがねミュージアムで開催されている。障害の有無

を超えて共に学ぶコミュニケーションづくりを目指す「NPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構」(松山市)が「自分の感覚を自由に使った作品鑑賞を楽しんでほしい」と初めて開催した。5日まで。
会場には「DRILL」MASUMOTO(ドリル

「マスモト」のペンネームで彫刻に取り組み増本達彦さん(51)＝松山東雲女子大准教授＝の「生命」を題材にした8点が並ぶ。中央では、クスノキを削って創作した全長2・6メートルの「生命体I」がひととき存在感を放つ。その周囲を取り囲むのは、生命や可能性を象徴する種をモチーフにした「守られた種」、自然災害や人知を超えた存在を具現化した「荒ぶるカミ」などの7点だ。
作品の前には視覚障害者用の点字ブロックを敷設。作品ごとに鳥のさえずりなどの音を流して位置を知らせたり、展示の間隔を広めに取ったりして工夫を施し、想像の翼が広がるようになっている。
増本さんは「触れて感じ取る喜びを味わってもらえれば幸い。のみで削った痕や磨いた部分に触れ、素材となった木の姿を想像して楽しんでほしい」と話している。(長谷川悠介)